

北九州市の市立中学校では、二〇二〇年度から、それぞれの中学校の制服に加えて、ブレザー型の「北九州スタンダードタイプ」が導入される予定です。この新しいタイプの制服は、男女に関係なくスラックスとスカートを選べます。動きやすさや防寒・暑さ対策といった機能性の向上と、性の多様性に対応することが目的です。

中学校の入学式の翌朝、なかなか起きて来ない娘を、母親が心配しています。

「早く起きないと遅刻するよ。」

「学校に…行きたくない!」

「どうしたの?」

「セーラー服を着たくない。スカートを履くと気持ちが悪くなる…。」

「そういえばあなた、小学校のときもズボンしか履かなかったもんね…。でも、すぐに慣れるよ、大丈夫。」

「大丈夫じゃない! スカートを履かなきゃいけないなら、中学校には行きたくない!」

「何があったの?」

「昨日、学校のガラスに映ったスカート姿の自分を見て、こんな私じゃないって思った。自分が自分じゃない気がする。」

だから友達に『私、ズボンの制服が着たい』って話したら、変だって言われた。」

「そう、そんなことがあったの…。」

「こんな思いをしてまで学校に行かなきゃならないの? 私って変?」

「変じゃないけど…お母さんは、あなたが自分らしいと思える制服で中学に通って、伸び伸びとお勉強できるのが一番だと思う。制服についてどうしたらいいか、一緒に考えよう。話してくれてありがとう。気づいてあげられなくて、ごめんね。」

いかがでしたか。

社会の中には、生まれた性と自分の認識する性が異なる子どもたちがいます。例えば、自分は男の子だと思っているのに、生まれた性が女の子だからスカートの制服を着なければならぬと言われたら、学校生活がとても苦痛になるのではないだろうか。

体の性と心の性が一致しない生徒に限らず、全ての中学生が学校生活を思う存分謳歌して、伸び伸びと育ってほしい。一人一人、自分らしく成長してほしい。来年度から導入される新しい制服には、そんな願いが込められています。

では、また。